

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 旭川医科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,100	6,100	0	
施設整備費補助金	346	174	-172	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33	33	0	
自己収入	11,797	12,563	766	
授業料及び入学金及び検定料収入	617	574	-43	(注2)
附属病院収入	11,129	11,807	678	(注3)
雑収入	51	182	131	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	558	780	222	(注5)
長期借入金収入	2,792	1,250	-1,542	(注6)
計	21,626	20,900	-726	
支出				
業務費	16,531	17,077	546	(注7)
教育研究経費	5,599	5,328	-271	
診療経費	10,040	10,867	827	
一般管理費	892	882	-10	
施設整備費	3,171	1,457	-1,714	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	558	613	55	(注9)
長期借入金償還金	1,366	1,366	0	
計	21,626	20,513	-1,113	
収入－支出	0	387	387	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、基本計画の変更の不測の日数を要し、設計に遅れを生じたため、本工事の着手が遅延となったことにより、予算金額に比して決算金額が172百万円少額となっています。

(注2) 授業料及び入学金及び検定料収入については、研究生等の減少により、予算金額に比して決算金額が43百万円少額となっています。

(注3) 附属病院収入については、患者数や診療単価等の増により予算金額に比して決算金額が678百万円多額となっています。

(注4) 雑収入については、承継剰余金(訴訟)の増により予算金額に比して決算金額が

131百万円多額となっています。

(注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究や寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して222百万円決算金額が多額となっています。

(注6) 注1に示した理由により、予算金額に比して決算金額が1,542百万円少額となっています。

(注7) 業務費については、附属病院収入の増加により、診療経費が増加したため、546百万円の増となっています。

(注8) 注1に示した理由により、予算金額に比して決算金額が1,714百万円少額となっています。

(注9) 注5に示した理由により、予算金額に比して決算金額が55百万円多額となっています。